

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	はしご車訓練時、リフタが下降中に自己確保ロープが突起部分に引っかかり、リフタが停止した事例
3. 体験した事例の中心的要素	はしご車リフタ操作訓練時、隊員2名を乗せたリフタが下降中に、左側に搭乗した隊員の自己確保ロープが梯子の突起部分に引っかかり、リフタワイヤーにたるみが発生したため、カム式ブレーキが作動してリフタが停止した。
4. 体験した事例の原因・理由	自己確保ロープの状況を確認せずにリフタ下降操作を開始したため、リフタ外に出ていた自己確保ロープが梯子1連目最上段にある突起部分に引っかかり、自己確保ロープが解除できなくなってしまった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成31年2月18日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:訓練場
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそにになったのか)	墜落・転落、(機器等)巻き込まれ、はまれ
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[ 救助(通常時) ]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	高所救助訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者 A）



○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[37]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[1]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D 年齢[30]歳、勤続[8]年、現場経験[1]年、階級[消防士長]、同様の活動:1年に数度、任務

## 11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	リフタに搭乗して自己確保設定。	リフタ右側搭乗隊員
経過2	当事者A	リフタに搭乗して自己確保設定。	リフタ左側搭乗隊員
経過3	当事者C	リフタ降下操作。	機関員
経過4	当事者D	ドラムワイヤーのたるみを発見して伝達。	機関員補助
経過5	当事者C	緊急停止操作。	機関員
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

## 【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

資機材の機能が適切だった 後方からの監視の目が行き届いていた たまたま、事故にならなかつた

## ○心理・体調について

## a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

## b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

# はしご車リフタ事故

